

桃山学院大学 教員免許状更新講習一覧（平成30年度実施）

受講番号	講習の名称・取り扱う事項	講習の概要	担当講師	時間数	講習の期間	主な受講対象者	受講料	受講人数
A1	【必修】教育の最新事情	本講習では、「国の教育政策や世界の教育の動向」「教員としての子ども観、教育観等についての省察」「子どもの発達に関する脳科学、心理学等における最新の知見（特別支援教育に関するものを含む。）」「子どもの生活の変化を踏まえた課題」の4つの事項を中心に講義を行う。また、様々な場面で活躍する講師を招き、教員としての資質・能力の向上を目的とする。	梶田 勲一 （桃山学院教育大学学長） 鎌田 首治朗 （桃山学院教育大学教育学部長） 冷水 啓子 （社会学部社会学科教授） 川口 厚 （経済学部経済学科講師）	6時間	平成30年7月 28日	全教諭	5,000円	250人
B1	【選択必修】教育相談 《教育相談（いじめ及び不登校への対応を含む。）》	教育相談に関する法や施策、教育相談の意義、教育相談体制構築のあり方等について理解を深める。次に、事例を取り上げ、具体的な支援のあり方について考察する。本講座ではグループワークを導入することにより、実践面についても理解を深めたいと考えている。	川口 厚 （経済学部経済学科講師）	6時間	平成30年7月 31日	幼稚園 小学校 中学校 高等学校 特別支援学校	5,000円	100人
B2	【選択必修】キャリア教育 と社会で求められている 人材 《進路指導及びキャリア教育》	桃山学院大学で取り組んでいる、充実した大学生活を送るための低年時授業や問題発見・課題解決力を養うPBLを取り入れた授業を演習形式で紹介し、また、児童・生徒たちの「自己肯定感」を高めるためにどうしたらよいかを考えます。さらには現代の急速な社会環境変化の中で、社会ではどのような人材を求めているのか、そして社会に出るまでにどのようなスキルや経験を求めているのかについて講義で取り扱います。	長嶋 久恵 （共通教育機構 講師） 棚橋 浩樹 （共通教育機構 講師）	6時間	平成30年8月 3日	幼稚園 小学校 中学校 高等学校 特別支援学校	5,000円	40人
B3	【選択必修】道徳教育 《道徳教育》	現行の学習指導要領では、道徳の教科化に伴い「考え、議論する」道徳授業が求められている。本講習では、道徳の教科化の意図を明らかにした上で、「考え、議論する」とはどのようなことを考える。そして、「考え、議論する」道徳授業を作るためにはどうすべきかを、グループ・ワークを通して考察を深める。	伊藤潔志 （経営学科准教授）	6時間	平成30年8月 4日	小学校 中学校	5,000円	100人
B4	【選択必修】学校、家庭及び地域の連携及び協働 《学校、家庭及び地域の連携及び協働》	学校と家庭・地域の連携および協働について、教育現場における課題や問題点を明らかにしつつ、どのように解決していけば良いのかを考える場とする。その前提として職員室の教職員間の連携の重要性を理解し、その深め方を提示する。また、基礎となる理念や社会的背景も把握した上で、家庭・地域との連携充実の方策についても検討する。そしてグループ討議や意見発表等を通じて理解の深化をはかる。	木村 重房 （共通教育機構 講師）	6時間	平成30年8月 9日	幼稚園 小学校 中学校 高等学校 特別支援学校	5,000円	40人

桃山学院大学 教員免許状更新講習一覧（平成30年度実施）

受講番号	講習の名称・取り扱う事項	講習の概要	担当講師	時間数	講習の期間	主な受講対象者	受講料	受講人数
C1	【選択】障がいのある児童、生徒への野外行事支援について	学校教育において、林間学校、臨海学校など野外教育の手法を用いた学校行事は重要な取り組みである。様々な障がいがある児童、生徒がスムーズにこれら行事に参加・活動できるよう教員として、事前の準備、実際のプログラムをどう組むかなど、配慮した活動を学ぶ。	石田 易司 (名誉教授) 水流 寛二 (特定非営利活動法人キャンピズ代表理事)	6時間	平成30年7月24日	全教諭、養護教諭	5,000円	30人
C2	【選択】英語教員夏季ワークショップ A	英語教育に関する最新の知識と技能をワークショップ形式で体得し、英語指導能力と英語運用能力の向上を図る。取り扱う内容は多岐にわたるが、ワークショップAでは、ディスコースの観点(結束性と一貫性)に基づいたリーディングやライティングの指導方法を探るとともに、つなぎ言葉の使用を教室に取り入れる方法を示す。さらに、英語音声学・音韻論の知見に基づき、教室で教えるべきことや教師として知っておくべきことを示し、併せて発音練習を行う。	Michael Carroll (国際教養学部英語・国際文化学科教授) 南條 健助 (国際教養学部英語・国際文化学科准教授)	6時間	平成30年7月25日	小学校教諭、中学校・高等学校英語教諭	5,000円	30人
C3	【選択】英語教員夏季ワークショップ B	英語教育に関する最新の知識と技能をワークショップ形式で体得し、英語指導能力と英語運用能力の向上を図る。取り扱う内容は多岐にわたるが、ワークショップBでは、意識化タスクや解釈タスクによって気づきを促す文法指導やディスコースをととした文法指導を紹介する。さらに、話し言葉において短縮形をどのように取り入れるかについて実例を示すとともに、想像上の会話によって誰もが気軽に楽しく参加できるスピーキング活動を示す。	島田勝正 (国際教養学部英語・国際文化学科教授) DECKER, Warren (桃山学院教育大学教育学部准教授)	6時間	平成30年7月27日	小学校教諭、中学校・高等学校英語教諭	5,000円	30人
C4	【選択】国際理解教育 (SDGsの取り組みを中心に)	国際連合における「平和」と「国際協調」の理念を教育の面において担保するものとして、「国際理解教育」は、世界の各地で戦後の長きにわたり実践されてきた。ただ、そのあり方については、時と場所、さらにそれを担う主体によって、多様な展開を見せてきたと言える。本講習においては、このような国際理解教育に関して、SDGs(持続可能な開発目標)、ESD(持続可能な開発のための教育)の取り組みを中心に考えていく。	岡崎 裕 (和歌山大学教育学部教職大学院教授)	6時間	平成30年7月30日	小学校・中学校・高等学校教諭、養護教諭	5,000円	50人
C5	【選択】英語教員夏季ワークショップ C	英語教育に関する最新の知識と技能をワークショップ形式で体得し、英語指導能力と英語運用能力の向上を図る。取り扱う内容は多岐にわたるが、ワークショップCでは、ペア・グループ学習を利用したリーディングやライティング活動を紹介するとともに、構造化されたスピーキング課題により生徒の不安を軽減する方法を探る。さらに、読解・聴解プロセス研究の知見から外国語学習法を考えるとともに、母語話者信仰について議論する。	釣井千恵 (国際教養学部英語・国際文化学科准教授) Adrian Wagner (国際教養学部英語・国際文化学科講師)	6時間	平成30年7月31日	小学校教諭、中学校・高等学校英語教諭	5,000円	30人
C6	【選択】データをゼロから作ってアクティブラーニングに活かそう	アクティブラーニングの中に「調べ学習」があります。この学習には「データ」をどこから集めたらいいのかが含まれます。しかし調べてもデータが見つからなければどうすればいい? 「作ればいい」これが答えになります。この講習では、アクティブラーニングの中で重要な位置を占めるデータの扱いについて「なければ作る」という姿勢を持ってもらおうと思います。今回はデータを作成する素材として「歌詞」を取り上げ、様々な歌詞から抽出してデータを作成し、それに基づいて新たな歌を作ることを体験して学んでもらいます。	中村 勝之 (経済学部経済学科教授)	6時間	平成30年8月1日	全教諭、養護教諭	5,000円	40人
C7	【選択】国際ニュースの読み方を多角的に学ぶ	この講座は国際ニュースの読み方を多角的に講義する。第1限は、国際ニュースに頻出するキリスト教とギリシャ神話の主要なエピソード、歴史上のできごと、組織名(例 ペンタゴン)を解説する。第2限は、アメリカ大統領のスピーチを英文読解、プレゼンテーション技術、および国際法の視点から考察する。第3限は、海外メディアのホームページを教材にして、メディア・リテラシーを学ぶ。第4限は、筆記試験と解説を行う。	軽部 恵子 (法学部法律学科教授)	6時間	平成30年8月2日	英語科、社会科、国語科の担当教員等	5,000円	50人
C8	【選択】みんなで英語を話そう!(英語教育入門)	この講習では、基本的な英語の教育活動について学びます。具体的には幼稚園や小学校、中学校、支援学校、家庭教室等で使える簡単なゲームや、絵本、歌、自己紹介、挨拶などを紹介します。その後、参加者同士でお互いにアイデアを交換しながら、新たな英語の教え方を一緒に発見しましょう。全て参加型で進めますので、英語復習と練習のチャンスにもなります! 皆様の積極的な参加をよろしくお願いいたします。	DECKER, Warren (桃山学院教育大学教育学部准教授)	6時間	平成30年8月4日	幼稚園、小学校、中学校等、初級の英語に関わる教員、養護教諭	5,000円	30人
C9	【選択】博学連携を考える	現代が生涯学習社会と呼ばれるようになって久しい。しかし生涯学習施設としての博物館と学校の連携は決してうまくいっているとは言えない。その理由の一つには学校側が博物館をうまく利用し切れていない現状がある。そこで本講習では博物館についての基本的な事柄を、更にその中でも博物館教育について講義をし、学校教育の考え方とのズレを認識し、受講者の興味関心に基づいて「博学連携」の具体的な取り組みを考察する場としたい。	井上 敏 (経営学部経営学科准教授)	6時間	平成30年8月6日	小学校・中学校・高等学校教諭、養護教諭	5,000円	50人
C10	【選択】成年年齢と法	2015年6月に公職選挙法が改正され、国政選挙等の選挙権を有する年齢が満20歳以上から満18歳以上に引き下げられた。そして、現在、成年年齢の引き下げが議論されている。成年年齢の引き下げにより、どのような影響が出るのか。民法、刑法、憲法それぞれの観点から成年年齢の引き下げを考察し、児童・生徒が「成人」とはどのようなものか、「子ども」から「成人」になることにより社会の受け止め方が変わる理由を論理的に説明できるように誘う。	田中 志津子 (法学部法律学科教授) 江藤 隆之 (法学部法律学科教授) 松田 聡子 (法学部法律学科教授)	6時間	平成30年8月7日	小学校・中学校・高等学校教諭、養護教諭	5,000円	100人
C11	【選択】生命倫理学	生命倫理学が成立した背景と、その基本的な考えから出発する。そして、生命倫理の問題について事例を中心に引き上げ、安楽死やQOLなどの生命倫理学の基本的な概念を具体的に考えていく。最後に、生命倫理学では取り扱われることの少ない「障害」について、応用倫理学の見地から考察する。	伊藤 潔志 (経営学部経営学科准教授)	6時間	平成30年8月8日	社会科教諭、その他関心のある教諭、養護教諭	5,000円	100人
C12	【選択】生徒指導の実践	個に応じた指導は、近年、ますます重要となっている。しかし、多様な事案が学校を混乱に陥れることも少なくない。それらを予見し未然に防ぐ取組は、学校現場では、最重要課題の一つとなっている。本講座では、学校職員室でのファシリテーションの実践を紹介して教員間の良好なコミュニケーションづくりを体験し、どのように教職員が協力体制を築いて生徒指導を実践していくかについて共に学ぶ。	木村 重房 (共通教育機構 講師)	6時間	平成30年8月10日	小学校・中学校・高等学校教諭、養護教諭	5,000円	40人